

ーもしものために再チェックー

地震後の避難生活

大規模地震が発生した後、自宅で安全に生活できる場合は、住み慣れた自宅で避難生活を送る「在宅避難」が基本です。それでもやむを得ず避難所で生活する人のために、市では、避難所環境の向上を着実に進めています。

問合せ 地域防災課 ☎623-2554



\check/確認 1 在宅避難が基本

避難所へ向かう前に「在宅避難」の選択を

自宅に大きな被害がなく、ライフラインや備蓄の状況から判断して、自宅で生活を続けられる場合は、在宅避難が基本です。在宅避難には、次のようなメリットがあります。

- 住み慣れた環境で安心して生活できる
- プライバシーを確保できる
- 高齢者や小さい子ども、持病のある人なども生活リズムを保ちやすい
- 避難所の混雑緩和につながる

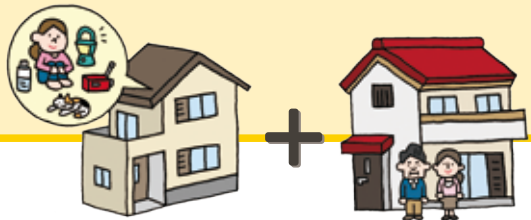
親戚や知人・友人宅などの避難先も確保しておく心安いです。

事前対策のススメ

災害による被害を少なくするため、日頃から防災について知るとともに、各家庭でも食料、飲料水などの十分な備蓄を行い、自宅で数日間生活できる準備を進めておきましょう。
 防災学習室「しえ〜る」(消防防災センター1階)では、地震体験や風水害体験、防災グッズの展示など、防災について気軽に見て、聞いて、触れて、楽しく学べます。



詳しくはこちら



在宅避難

親戚・知人宅への避難



感震ブレーカーの設置補助があります

市では、強い揺れを感じると自動的に電気を遮断する「感震ブレーカー」の設置にかかる費用を補助しています。

- 対象
- ①分電盤タイプ（内蔵型）
 - ②分電盤タイプ（後付型）
 - ③コンセントタイプ
 - ④簡易タイプ

※①②は電気工事業者が設置する必要があります。

補助金名称

- ①②焼津市感震ブレーカー設置推進事業補助金
- ③④焼津市家具転倒防止器具等購入費補助金

補助額 対象経費の3分の2以内（上限2万円）



詳しくはこちら

通電火災を防ぐ

\check/確認 2 避難所の環境整備

小中学校への空調設置

在宅避難や縁故先への避難が難しい状況の人を受け入れるため、市は避難所を開設します。

避難所での暑さ・寒さ対策は、体調管理に直結します。市では、指定避難所となる全ての小中学校で空調整備を完了しています。これらの空調は、平時の利用や訓練の中で動作確認を行い、災害時に円滑に使用できるよう備えています。特に、夏場の猛暑の中での発災時には、避難者の熱中症リスクが大幅に軽減されます。



体育館の空調



訓練時の動作確認

資機材の整備

避難所では、トイレなどの衛生環境、就寝環境、プライバシーの確保が、避難生活の質を大きく左右します。避難者が少しでも安心して過ごせるよう、市では、国の交付金などを活用し、避難生活を支えるさまざまな資機材の整備を進めています。

■導入資機材の一例



ワンタッチテントとエアーマット



水循環型シャワーキット



災害対策用トイレハウスと自動ラップ式トイレ



トイレカー（デザインはイメージ）※今年度整備予定。

任命 教育委員に増田澄浩さん

市議会9月定例会での同意を得て、教育委員に増田澄浩さんが任命されました。

任期は今年7日から令和12年10月6日までの4年間です。

問合せ 教育政策課 ☎625-8156

焼津市教育委員会教育委員 ※敬称略。



増田澄浩さん

教育長	はねだ あきお 羽田明夫（小川）
教育委員	とやま けいぞう 外山敬三（大住）
教育委員	ふるや みづこ 古谷光子（東小川2）
教育委員	こばやし かよこ 小林香代子（焼津6）
教育委員	ますだ すみひろ 増田澄浩（一色）

雨水浸透ますや雨水貯留タンクの設置費用を補助します

市では、雨水の流出を抑制する「雨水浸透ます・雨水貯留タンク」の設置費用を補助しています。宅地などに降った雨水を地下へ浸透させたりタンクに貯めたりすることは、浸水被害の軽減や、断水時のトイレの洗浄など生活用水の確保につながります。積極的な設置をお願いします。

問合せ 河川課 ☎626-1118

【表】設置区分と補助金額

設置区分	補助金額（上限額）
雨水浸透ます（A型）	1基につき10万円まで全額補助
雨水浸透ます（B型）	1基につき5万円まで全額補助
雨水貯留タンク	住宅など1棟につき（合計200㎡以上）3万円まで全額補助

※必ず着工前に申請してください。

※「雨水浸透ます」は一部補助対象外の区域があります。



詳しくはこちら

■人事行政の運営状況

「焼津市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、令和8年度の市職員の給与や勤務条件などの人事行政の運営の状況を公表します。さらに詳しい運営状況は、市役所本庁舎1階の情報公開室や市ホームページで確認できます。

問合せ 人事課 ☎626-2146



詳しくはこちら

■給与の状況

【1】平均給料月額（令和8年4月1日現在）

区分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	385,248 円	42.3 歳

【2】初任給の状況（令和8年4月1日現在）

区分	焼津市
大学卒	237,600 円
高校卒	206,700 円

【3】期末手当および勤勉手当の状況（令和8年4月1日現在）

区分	焼津市			国（参考）
	期末手当	勤勉手当	計	
6月期	1.2625月分	1.0625月分	2.325月分	期末手当、勤勉手当ともに焼津市と同じ
12月期	1.2625月分	1.0625月分	2.325月分	
計	2.525月分	2.125月分	4.65月分	

■職員の研修の状況

社会情勢の変化を的確に捉え、スピード感のある行政運営を担う職員を育成するため、職位に応じた研修や行政職員として必要な知識を習得する研修を実施しています。また、専門的知識を習得するために国の機関や専門研修機関に職員を派遣するほか、県や近隣市と人事交流を行っています。

■職員数の状況

令和8年4月1日現在の職員数は1,658人で、前年の職員数と比較して34人増加しています。「市長部局など」は、第7次総合計画の着実な推進に向けて「DX・GXの推進」に対応するためのデジタル部門などへ職員を増員し、「病院」は、診療体制の強化や職員の働き方への対応のため職員を増員しています。

【1】部門別職員数の推移（各年4月1日現在）

区分	部門	職員数（人）			主な増減理由
		R7年度	R8年度	対前年度	
一般会計	市長部局など	675	698	23	デジタル部門の体制強化などによる増
	教育関係	105	103	△2	
	小計	780	801	21	
特別会計	病院	757	770	13	診療体制強化などによる増
	病院以外	87	87	0	
	小計	844	857	13	
合計		1,624	1,658	34	

【2】職員の採用・退職の状況（令和7年4月2日～令和8年4月1日）

区分	部門	採用（人）	離職（人）							
			退職				免職		失職	合計
			定年	早期退職	普通	死亡	任期満了	分限	懲戒	
一般会計	市長部局など	45	0	0	22	0	2	0	0	24
	教育関係	7	0	0	8	0	0	0	0	8
	小計	52	0	0	30	0	2	0	0	32
特別会計	病院	67	2	0	52	1	0	0	0	55
	病院以外	3	0	0	1	0	0	0	0	1
	小計	70	2	0	53	1	0	0	0	56
合計		122	2	0	83	1	2	0	0	88